

革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)

「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」シンポジウム ～ブレインマシンインターフェースとロボティクスの融合に向けて～

日時：2014年10月7日(火) 17:00 ~ 19:00 (開場16:45)

場所：ベルサール九段ホール A・B

http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_kudan/

参加費：無料

→お申し込みは[こちら](#) (参加登録用の外部ウェブサイトへリンクします)

※会場等の都合で、参加をお断りする場合がございますので、予めご了承下さるようお願い致します。

■ご挨拶



ImPACT「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」プログラムでは、自分の脳の状態の把握・訓練を通じて、誰もが自分にあった豊かな生活を実現する事を目指しています。そのためには、実空間で簡易かつ低コストに脳の状態を伝達するBMI技術と、脳を望ましい状態にフィードバックするロボティクス技術の融合が重要であると考えます。今回のシンポジウムでは、これらのBMIとロボティクスに関する日本を代表する研究者にご登壇頂き研究動向や将来展望をご紹介頂くとともに、産業界からの有識者にも参加頂き、ImPACTでの産業化に向けた研究開発の可能性について開かれた議論を行う事を目的としています。

ImPACTプログラム・マネージャー 山川 義徳

■プログラム(案)

17:00-17:10	開会挨拶 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員	久間 和生
17:10-17:20	ImPACTプログラムの紹介 「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」 ImPACT プログラム・マネージャー	山川 義徳
17:20-17:50	講演1:「携帯型BMIの可能性について」 ATR 脳情報研究所 所長	川人 光男
17:50-18:05	講演2:「脳計測機器の事業応用について」 島津製作所 医用機器事業部 技術部 副部長	井上 芳浩
18:05-18:35	講演3:「脳ロボティクス制御の可能性について」 大阪大学基礎工学 研究科システム創成専攻 教授(特別教授)	石黒 浩
18:35-18:50	講演4:「ロボティクス技術の事業応用について」 NTT データ 技術開発本部 サービスイノベーションセンター長	風間 博之
18:50-19:00	閉会挨拶 NTT データ 代表取締役常務執行役員	椎名 雅典

■本プログラムについてのお問い合わせ先

独立行政法人 科学技術振興機構 革新的研究開発推進室
tel: 03-6272-3658 E-mail: impact-ymk@jst.go.jp